



令和6年度決算報告
一般会計歳出額は

69 億 949 万円

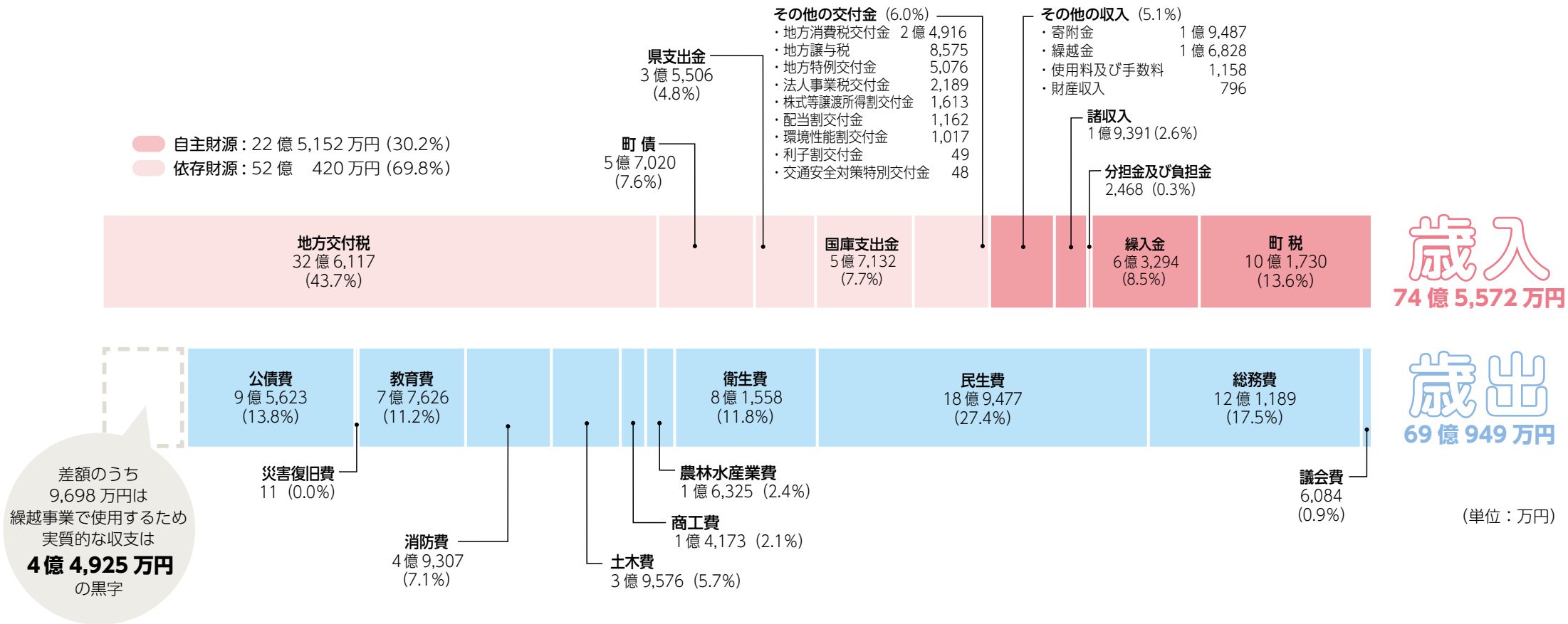
令和6年度一般会計および特別会計の決算が町議会9月定例会で承認されました。
当初予算67億8,970万円で始まった令和6年度一般会計決算は最終的に歳入が74億5,572万円、歳出は69億949万円。歳入から歳出を差し引くと5億4,623万円の黒字ですが、そのうち令和7年度へ繰り越す事業に必要なお金が9,698万円あるた

め、実質的な収支は4億4,925万円の黒字です。黒字のうち2億3,000万円を財政調整基金に積み立て、今後の安定した財政運営に備えます。そのほか、特別会計においては左の表のとおりです。
それでは、令和6年度の一般会計決算状況をお知らせします。
(予算額・決算額は、千円単位を四捨五入しています。)

◆ 令和6年度の主なまちづくり事業

総務費	
定額減税調整給付金事業	8,516 万円
紀の宝プレミアム商品券発行事業	3,734 万円
平尾井高齢者生産活動センター塗装事業	2,388 万円
民生費	
重層の支援体制整備事業	1,867 万円
福祉センター駐車場整備事業	1,623 万円
保育料第2子以降無償化事業	1,010 万円
衛生費	
訪問看護ステーション等複合施設整備事業	8,486 万円
予防接種事業	2,760 万円
清掃車購入事業	1,202 万円
農林水産費	
山村強靱化林道整備事業	1,017 万円
新規就農者補助事業	385 万円
木造住宅建設促進対策事業	200 万円
商工費	
ウミガメ公園物産館・飼育棟エアコン取替事業	804 万円
空き店舗再生事業費補助事業	123 万円
土木費	
緊急自然災害防止対策事業	1 億 5,677 万円
社会資本整備総合交付金事業	4,578 万円
建物解体助成事業	750 万円
消防費	
津波避難タワー整備事業	1 億 3,400 万円
木造住宅耐震補強等事業費補助事業	1,010 万円
蓄電池式避難誘導灯整備事業	966 万円
教育費	
給食センター改修事業	8,166 万円
鵜殿体育館改修事業	6,870 万円
小中学校・幼稚園給食費無償化事業	3,327 万円

●町の貯金と借金 (令和6年度末)		
基金 (貯金)	財政調整基金	21 億 3,816
	地域振興基金	11 億 1,868
	その他の一般会計基金	5 億 7,600
	特別会計基金合計	3,444
地方債等 借金	基金合計	38 億 6,728
	一般会計	72 億 2,000
	水道事業特別会計	7 億 9,498
	町営浄化槽整備推進事業特別会計	3 億 1,377
地方債等合計		83 億 2,875



民生費が全体の約27・4%

令和6年度の歳入は74億5,49万円です。
目的別に見ると、最も多いのは児童手当や福祉医療費助成制度などに充てられる民生費で、歳出全体の27・4%にあたる18億9,477万円です。
次に多いのは、町の全般的な管理事務や企画税の徴収、戸籍、選挙、交通安全などに使われる総務費で、全体の17・5%にあたる12億1,189万円です。

地方交付税が全体の約43・7%

令和6年度の歳入は74億5,572万円です。
歳入は、町税や各種収入など町が自主的に確保できる「自主財源」と、地方交付税や国・県支出金など国や県から交付・割り当てを受ける「依存財源」に大きく分けられます。
依存財源は69・8%で全体の約7割を占めています。依存財源のうち国・県支出金などが前年度より減少したため、依存財源の割合は前年に比べて1・7%減少しています。依存財源の内訳では、地方交付税が32億6,117万円(43・7%)、事業を進めるために国などから借り入れた町債は5億7,020万円(7・6%)です。
一方、自主財源は30・2%で全体の約3割です。この中で最も多いのは町税収入で10億1,730万円です。町民一人当たりで換算すると10万1,446円(令和7年3月31日現在の人口で計算)です。